

京都府保険医協会FAXNET登録会員アンケート

これ以上医療機関に負担を強いる医療DXにかかる制度改定が実施された場合、
医業を継続できますか？

実施期間：2023年10月20日～11月10日

送信済み件数：1531 / 回答数：221 / 回答率：14.4%

政府・厚労省は、オンライン資格確認等システムは「医療DX（デジタルトランスフォーメーション）」の基盤であるとして、これを23年4月に全ての医療機関に原則義務付けしました。今後は「このネットワークを発展的に拡充し、レセプトや特定健診に加え、予防接種、電子処方箋、自治体検診、電子カルテ等の医療・介護全般にわたる情報について共有・交換できる『全国医療情報プラットフォーム』を構築することを計画しています。

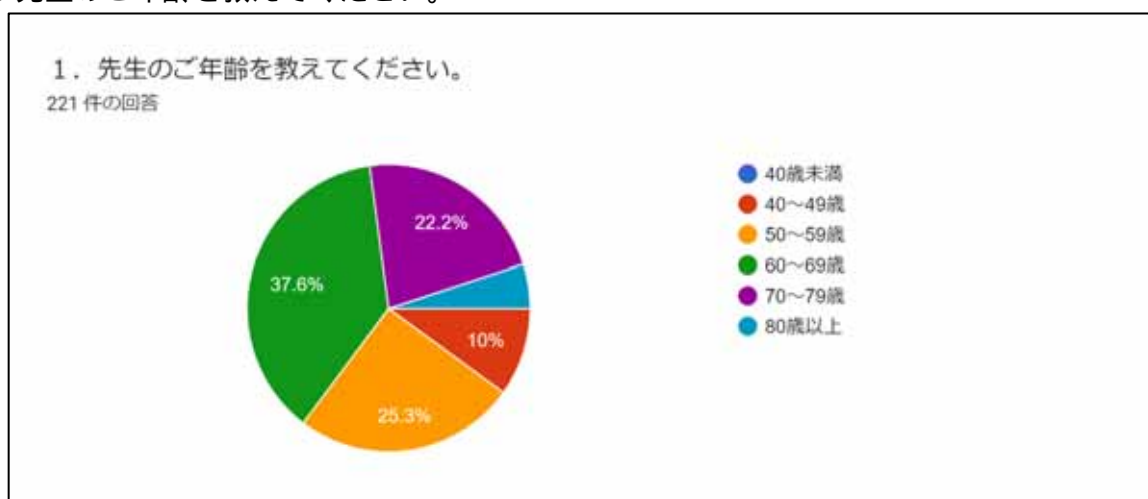
医療DXの推進に関する工程表の概要は以下の通りです。

- (1) 電子処方箋を2025年から概ね全ての医療機関で導入。
- (2) 本年2023年中に電子カルテ情報共有サービス（仮称）を整備、2025年から検査値、アレルギー、薬剤禁忌、傷病名等を共有。
- (3) 診療報酬改定DXとして、2025年から共通算定モジュール（クラウド型レセコン）の提供開始。
- (4) 『全国医療情報プラットフォーム』構築のため2025年から標準型電子カルテの提供開始（共通算定モジュールと一体的に提供）。
- (5) 2024年4月以降、光ディスク等で請求する医療機関にオンライン請求を義務付け。

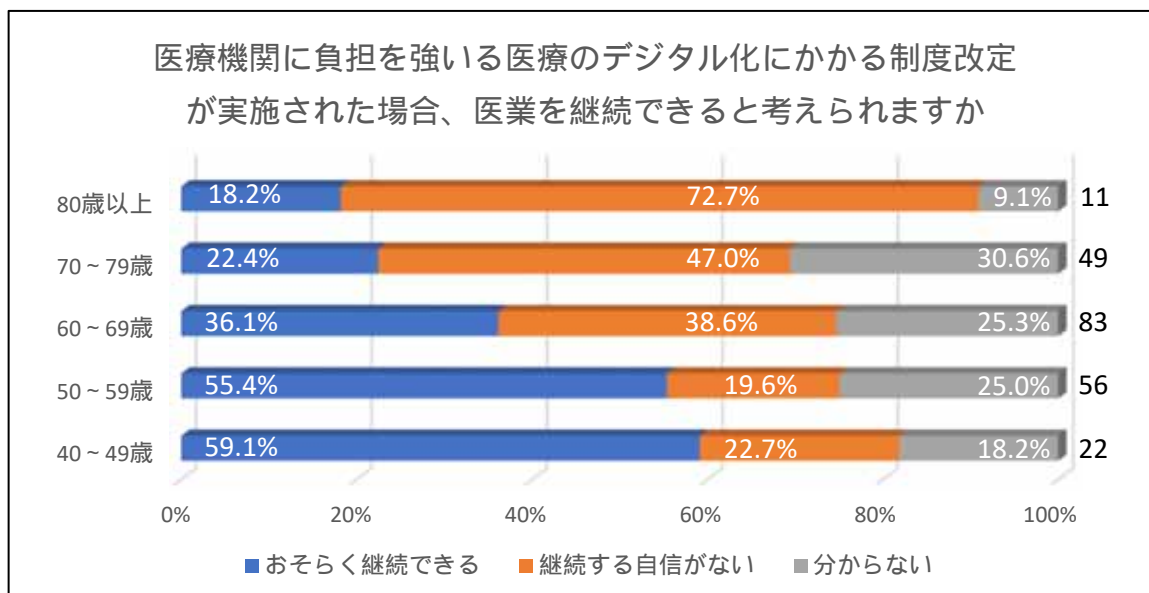
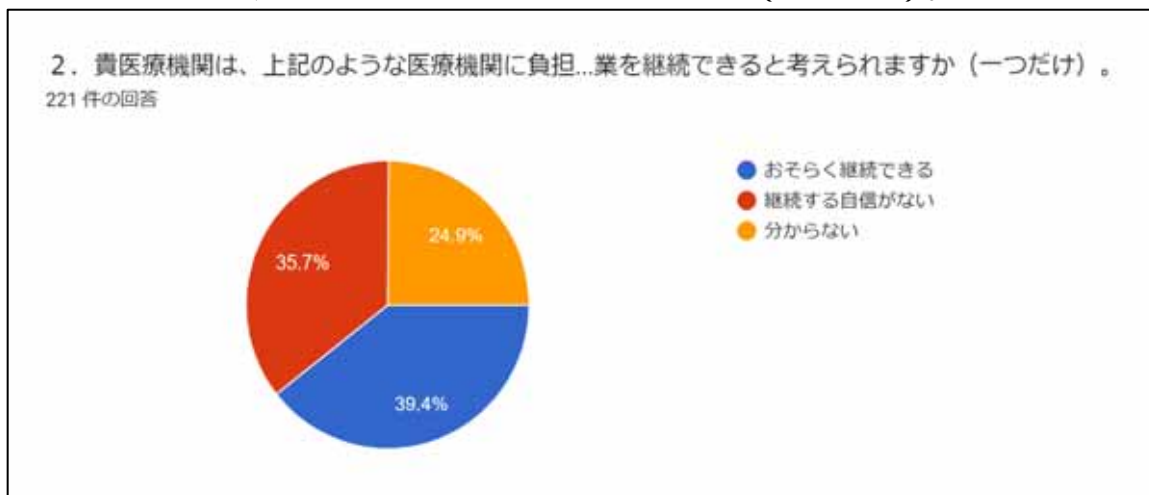
などの対応を医療機関に求めようとしています。

以上の状況を受けて、京都府保険医協会FAXNET登録会員に対して、アンケートを行いました。

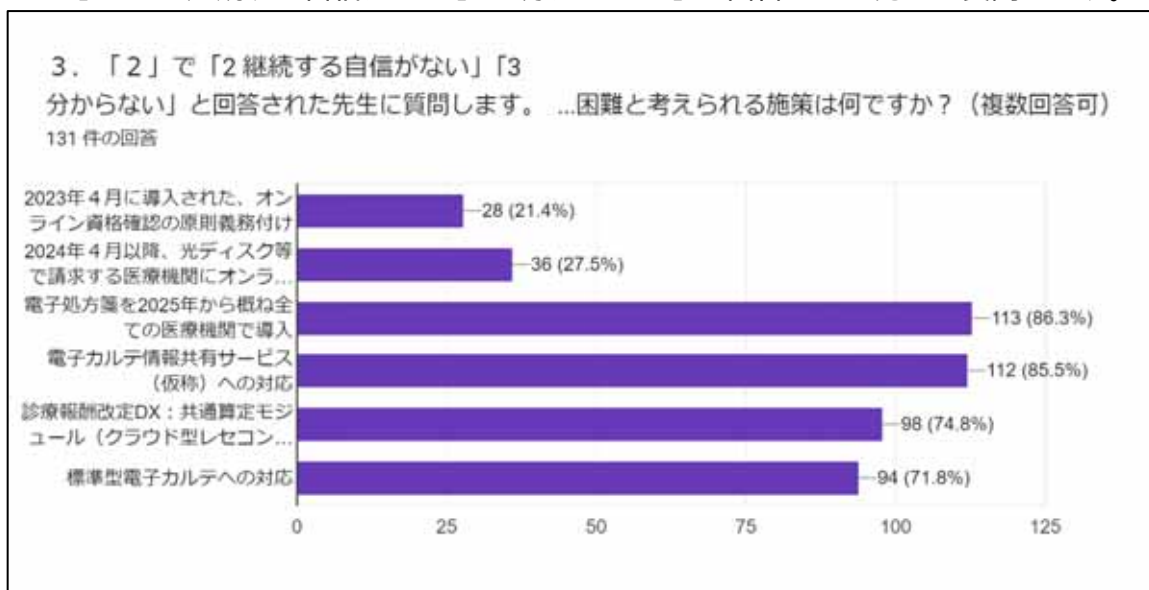
1. 先生のご年齢を教えてください。



2. 貴医療機関は、上記のような医療機関に負担を強いる医療のデジタル化にかかる制度改定が実施された場合、医業を継続できると考えられますか（一つだけ）。

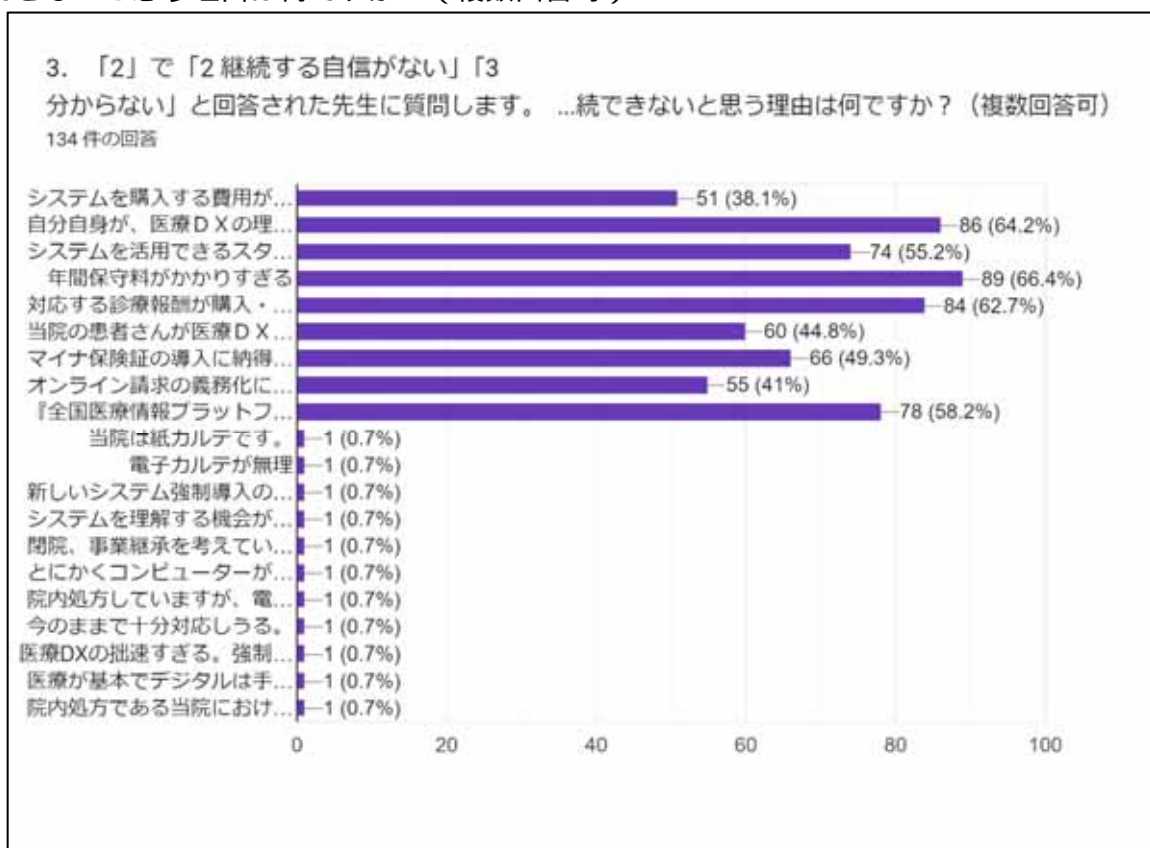


3. 「2」で「2 継続する自信がない」「3 分からない」と回答された先生に質問します。



	選択肢	回答数	回答率
1	2023年4月に導入された、オンライン資格確認の原則義務付け	28	21.4%
2	2024年4月以降、光ディスク等で請求する医療機関にオンライン請求を義務付け	36	27.5%
3	電子処方箋を2025年から概ね全ての医療機関で導入	113	86.3%
4	電子カルテ情報共有サービス（仮称）への対応	112	85.5%
5	診療報酬改定DX：共通算定モジュール（クラウド型レセコン）への対応	98	74.8%
6	標準型電子カルテへの対応	94	71.8%
	計	481	367.2%

3. 「2」で「2 継続する自信がない」「3 分からない」と回答された先生に質問します。継続できないと思う理由は何ですか？（複数回答可）



	選択肢	回答数	回答率
1	システムを購入する費用がない	51	38.1%
2	自分自身が、医療DXの理解、IT機器の操作が不得意	86	64.2%
3	システムを活用できるスタッフがいない	74	55.2%
4	年間保守料がかかりすぎる	89	66.4%

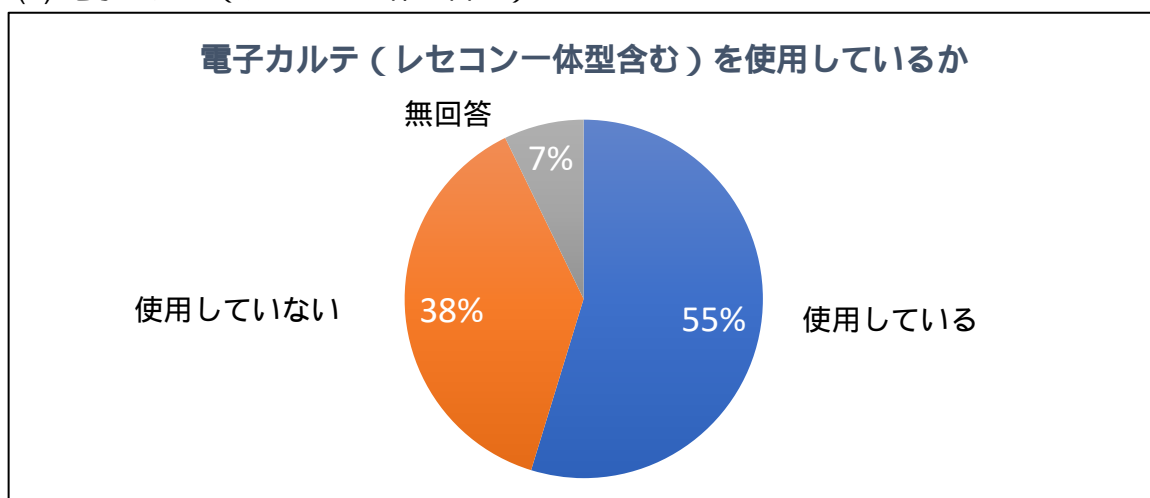
5	対応する診療報酬が購入・運用の費用に見合っていない	84	62.7%
6	当院の患者さんが医療DXになじまない	60	44.8%
7	マイナ保険証の導入に納得できない	66	49.3%
8	オンライン請求の義務化に納得できない	55	41.0%
9	『全国医療情報プラットフォーム』の構築等、患者の個人情報収集の政策に共感できない(支持しない)	78	58.2%
10	その他	11	8.2%
	計	654	488.1%

【自由意見】

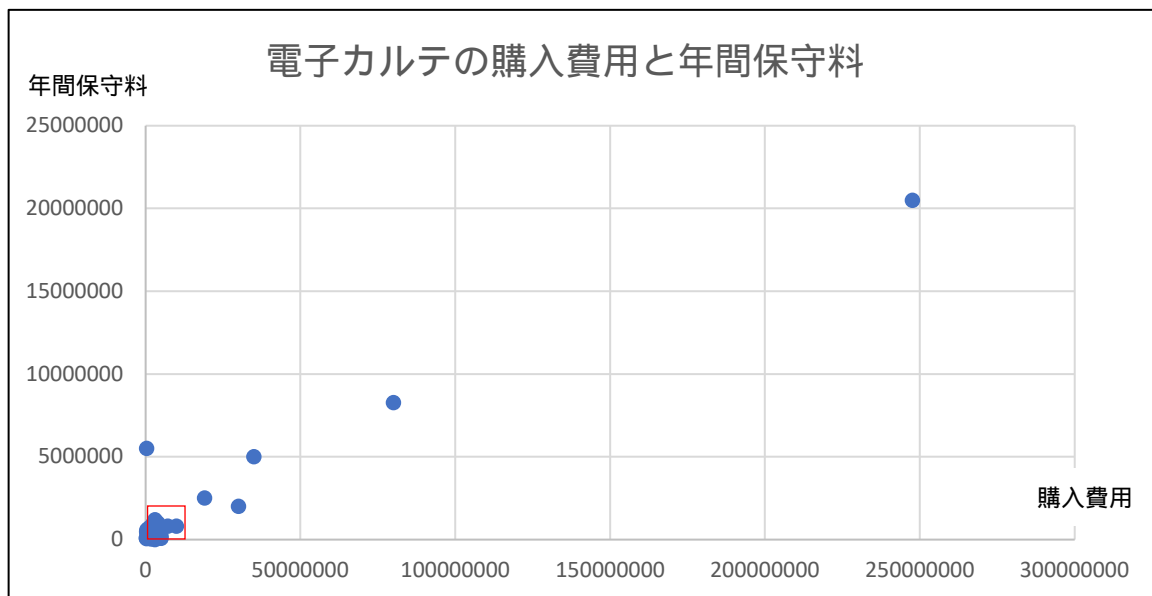
当院は紙カルテです。
電子カルテが無理。
新しいシステム強制導入のたびにコストを求められるのは納得できない。
システムを理解する機会が不十分と感じる。
閉院、事業継承を考えているので、DXを進める。
とにかくコンピューターが苦手なので何にどう対応したら良いのかわかりません。
院内処方していますが、電子処方箋は困りますね。
今のままで十分対応しうる。
医療DXの拙速すぎる。強制・義務化。
医療が基本でデジタルは手段である。本末転倒だと思う。
院内処方である当院における電子処方箋の必要性。

4. 全員に質問します。貴医療機関では現在、電子カルテ、レセコン、オンライン資格確認システムの購入(交換)、年間保守料に、どの程度、経費がかかっていますか。

(1) 電子カルテ(レセコン一体型含む)



	選択肢	回答数	回答率
1	使用している	121	54.8%
2	使用していない	84	38.0%
3	無回答	16	7.2%
	計	221	100.0%

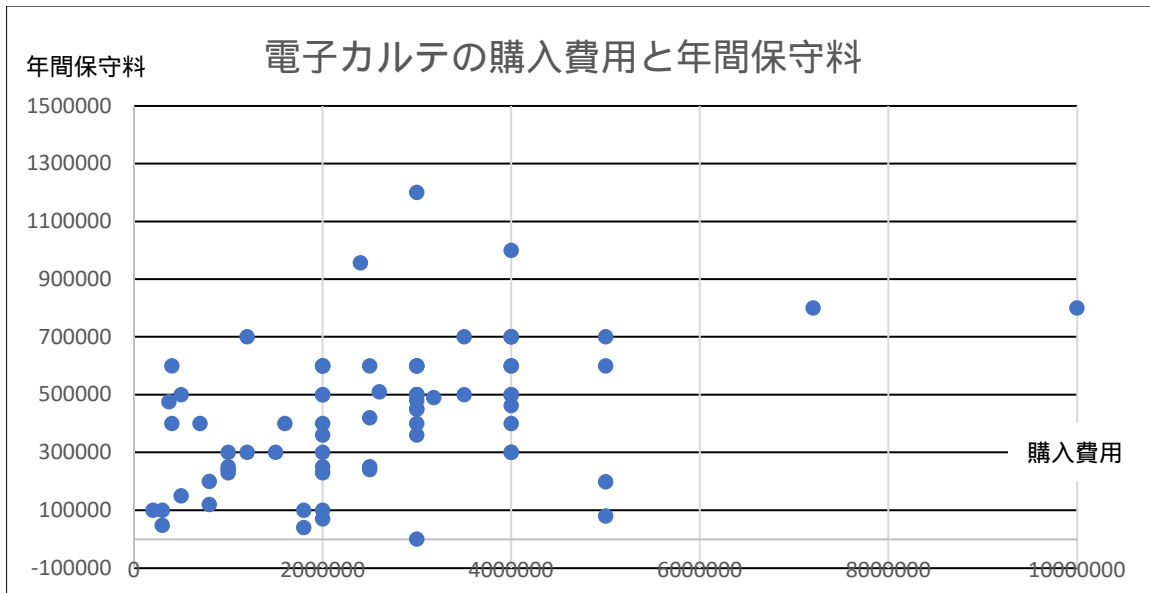


・購入（交換）費用

平均額	¥7,240,418
中央値	¥3,000,000
最大値	¥247,623,629
最小値	¥200,000

・年間保守料

平均額	¥928,431
中央値	¥480,000
最大値	¥20,493,220
最小値	¥70



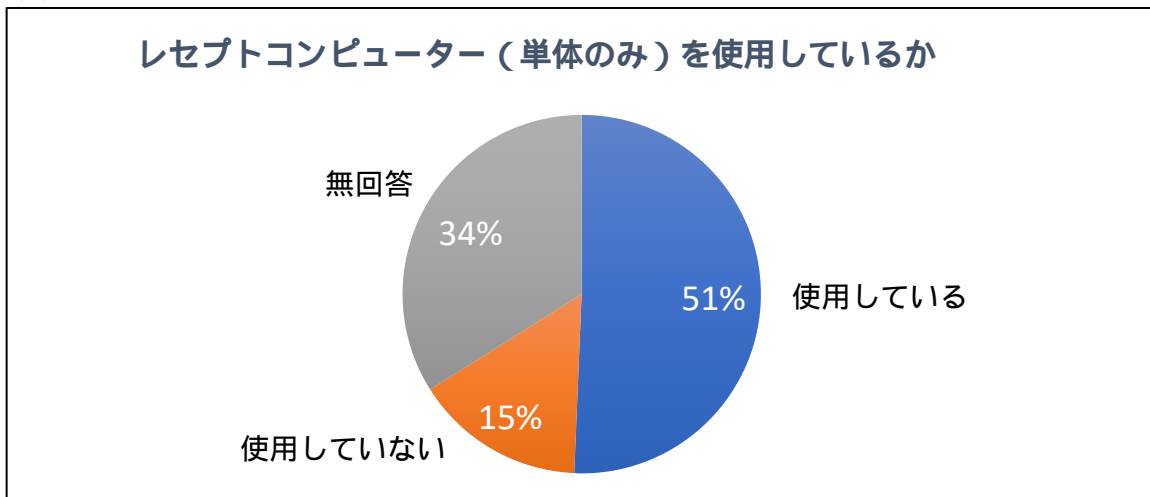
・購入（交換）費用（上下1割を除外）

平均額	¥2,935,287
-----	------------

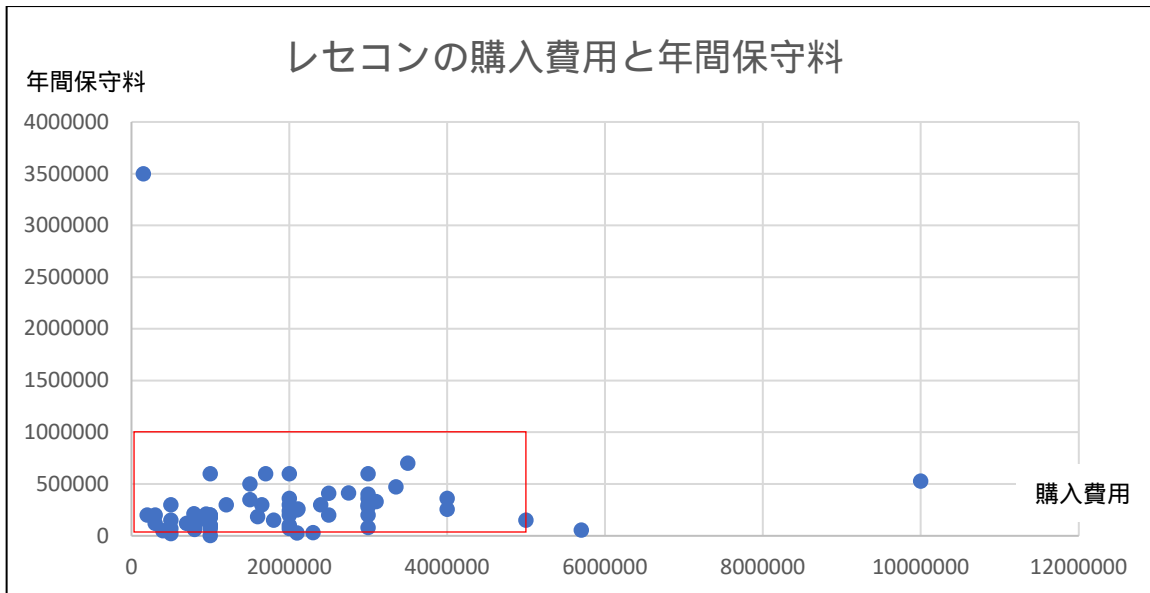
・年間保守料（上下1割を除外）

平均額	¥511,409
-----	----------

(2) レセプトコンピューター（単体の場合のみ）



	選択肢	回答数	回答率
1	使用している	112	50.7%
2	使用していない	34	15.4%
3	無回答	75	33.9%
	計	221	100.0%

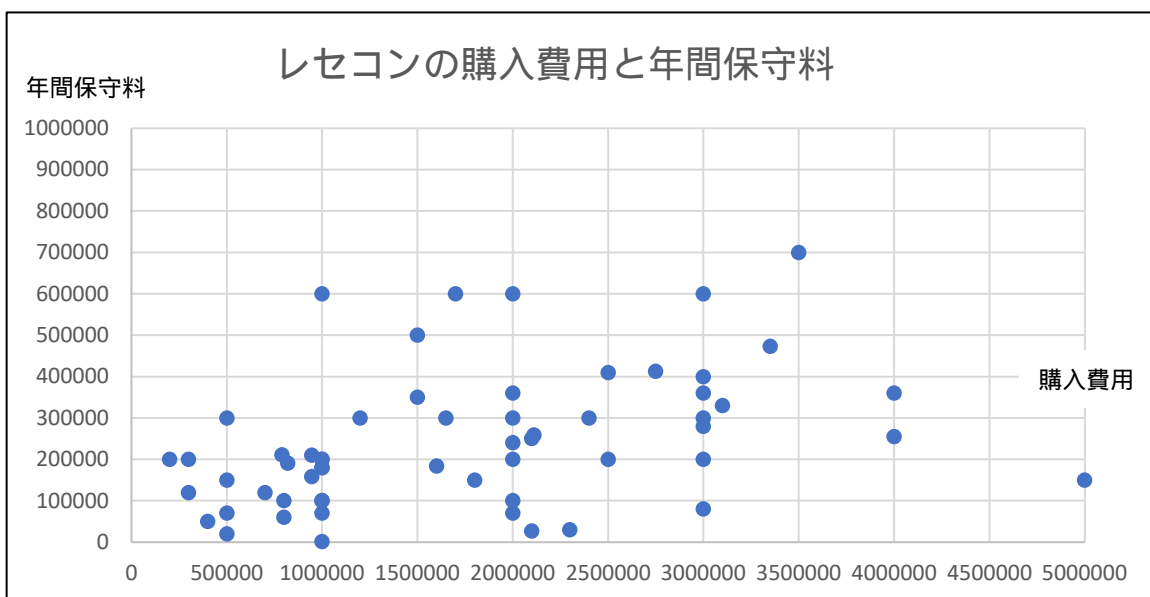


・購入（交換）費用

平均額	¥1,928,992
中央値	¥1,675,000
最大値	¥10,000,000
最小値	¥150,000

・年間保守料

平均額	¥284,454
中央値	¥200,000
最大値	¥3,500,000
最小値	¥1,500



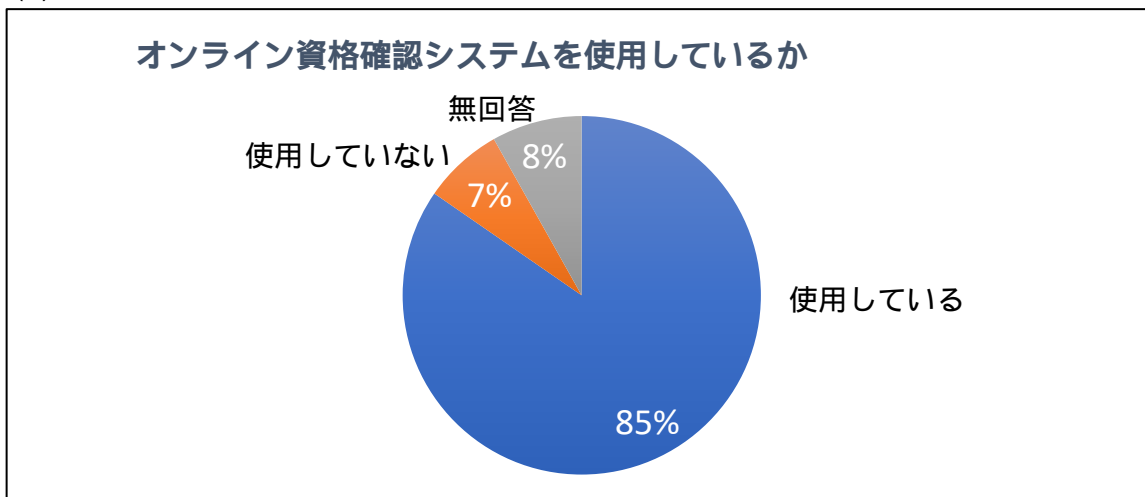
・購入（交換）費用（上下1割を除外）

平均額	¥1,766,058
-----	------------

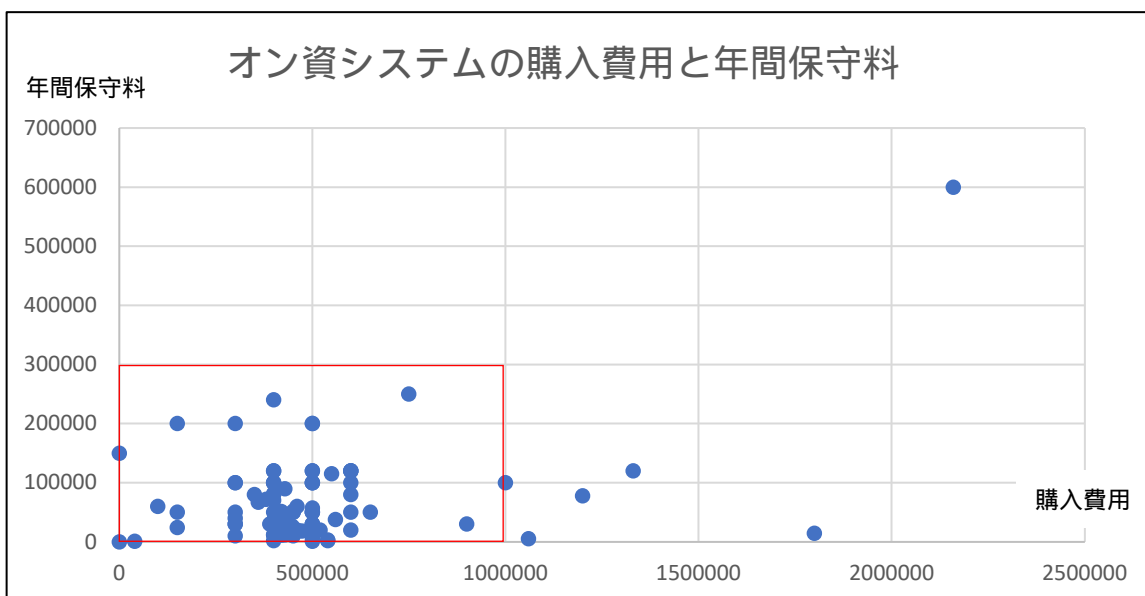
・年間保守料（上下1割を除外）

平均額	¥237,561
-----	----------

(3) オンライン資格確認システム



	選択肢	回答数	回答率
1	使用している	187	84.6%
2	使用していない	16	7.2%
3	無回答	18	8.1%
	計	221	100.0%

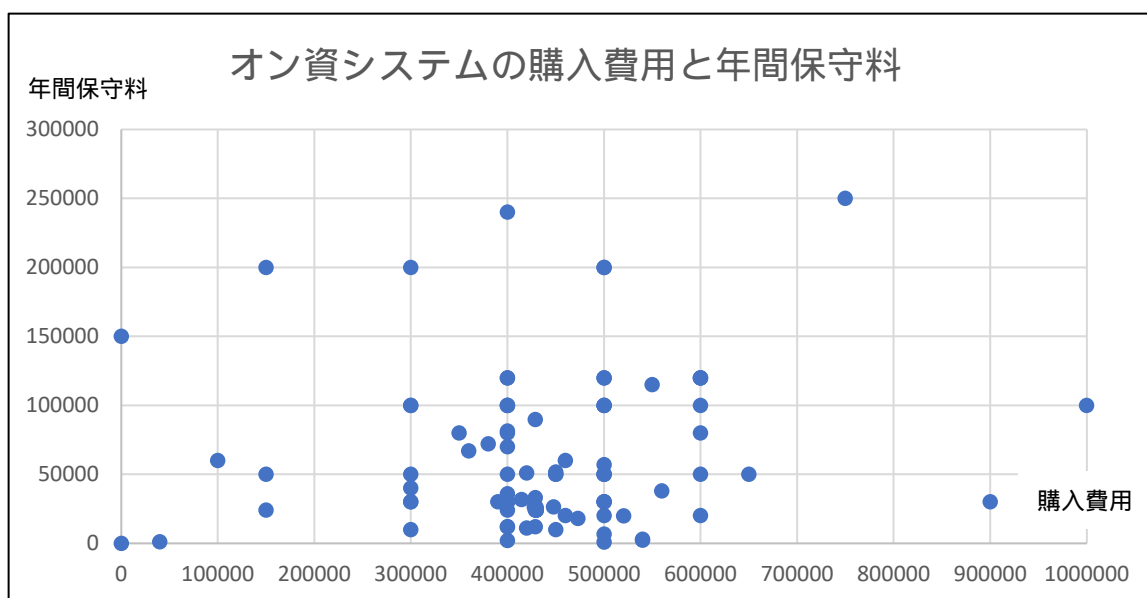


・購入（交換）費用

平均額	¥486,785
中央値	¥429,000
最大値	¥2,367,420
最小値	¥1

・年間保守料

平均額	¥64,455
中央値	¥40,000
最大値	¥600,000
最小値	¥1,500



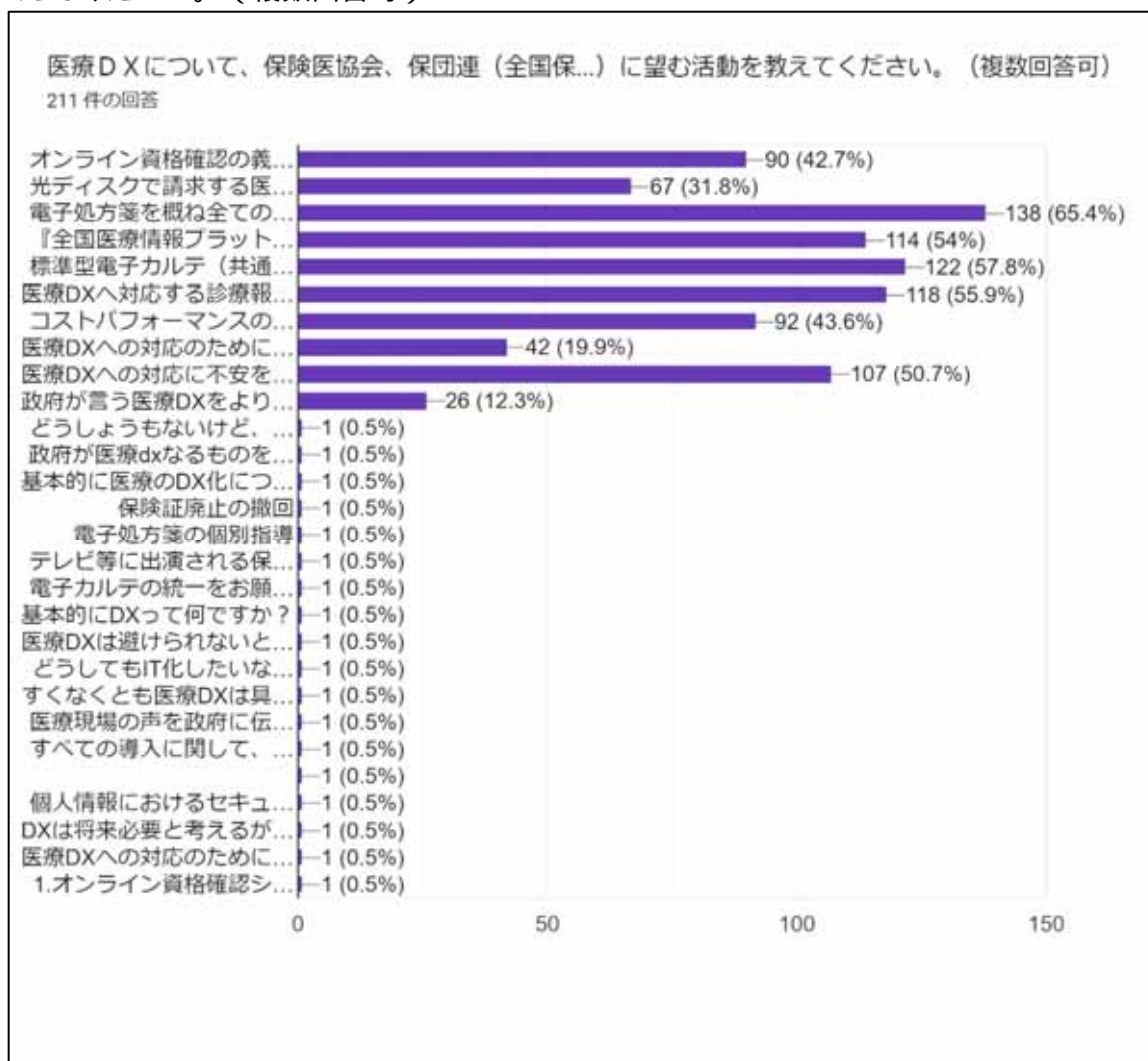
・購入（交換）費用（上下1割を除外）

平均額	¥450,534
-----	----------

・年間保守料（上下1割を除外）

平均額	¥55,767
-----	---------

5. 医療DXについて、保険医協会、保団連（全国保険医団体連合会）に望む活動を教えてください。（複数回答可）



	選択肢	回答数	回答率
1	オンライン資格確認の義務化の撤回	90	42.7%
2	光ディスクで請求する医療機関へのオンライン請求の義務化の撤回	67	31.8%
3	電子処方箋を概ね全ての医療機関で導入させることの阻止	138	65.4%
4	『全国医療情報プラットフォーム』への検査値、アレルギー、薬剤禁忌、傷病名等の入力の強要の阻止	114	54.0%
5	標準型電子カルテ（共通算定モジュールと一体的に提供）の使用強制の阻止	122	57.8%
6	医療DXへ対応する診療報酬の点数化・引き上げ	118	55.9%
7	コストパフォーマンスの良い、オンライン診療のためのソフトやアプリの提供	92	43.6%

8	医療DXへの対応のために、会員への低利の融資制度の新設	42	19.9%
9	医療DXへの対応に不安を感じている医療機関へのサポート	107	50.7%
10	政府が言う医療DXをより加速させるために協力すること	26	12.3%
11	その他	18	8.5%
	計	934	442.7%

【自由意見】

<p>どうしょうもないけど、十年くらい前からやってたら、こんなにレセコン会社が群雄割拠にならず、楽だったんじゃないでしょうか。</p>
<p>政府が医療dxなるものを強制するのなら、導入コストは政府負担で、現物の機器を無償で提供するよう求める。</p>
<p>基本的に医療のDX化については賛成です。こども達の世代の社会としてのコストパフォーマンスを上げるために避けてはならないと考えています。</p>
<p>保険証廃止の撤回。</p>
<p>電子処方箋の個別指導。</p>
<p>テレビ等に出演される保険医協会の先生にお願いします。正しい意見を仰られても切り取りされるので、なるべく簡潔に、ワンワードでも構いませんので、国民に伝わる様になさって下さい。</p>
<p>電子カルテの統一をお願いします。</p>
<p>基本的にDXって何ですか？</p>
<p>医療DXは避けられないと考えるので、医療DXを行うためのサポートを。</p>
<p>どうしてもIT化したいなら、関連系ソフトを厚労省HPで無料DLできるようにすべき。</p>
<p>すくなくとも医療DXは具体的に何をすることなのか、それによっていかなることをタイムスケジュールとして考えているかを明示してほしい。大阪万博のテーマみたいなことをいわれても困るわけです。</p>
<p>医療現場の声を政府に伝える事や現状を伝え、改善策等早急に構築してもらえよう活動を！</p>
<p>すべての導入に関して、国側が準備、操作方を指導してもらえよう。</p>
<p>個人情報におけるセキュリティの問題、医療機関へのサポートが重要。</p>
<p>DXは将来必要と考えるが、あまりにも拙速すぎる。何も整っていない(医療機関も患者側も)のに、手続が間違っている。</p>
<p>医療DXへの対応のために、会員への低利の融資制度の新設 無料とすべし</p>
<p>1.オンライン資格確認システムの機会の寿命は、5年~10年とのことですが、補助金は出るのでしょうか。2.すべて現状でいいです。何も困りません。自見議員は万博にまわりました。政府に言う人はいません。</p>